



## 学長挨拶

札幌保健医療大学  
学長  
小林 清一

札幌保健医療大学は、2020年度に看護学科は開設8年目すなわち2サイクル目の最終年度、栄養学科は開設4年目の完成年度を迎え、順調に一つの節目を迎える年度となるはずでした。しかし、2020年初頭から新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）が日本はもとより全世界に拡大して世界的大流行（パンデミック）に発展し社会的な大混乱を引き起こしているのは周知の通りです。

北海道は2月下旬頃から全国で最初にCOVID-19の第一波に襲われました。2月末には全国に先駆けて北海道知事より緊急事態宣言が発出され、医療専門職者を育成する大学としては感染リスクを最小限にして学生の皆さんや教職員の安全を最優先する観点から、3月中を登校禁止とし、3月10日に予定しておりました2019年度卒業証書・学位記授与式も中止と致しました。4年間必死に勉学に励みながら学生生活最後の集大成ともいえる式典に臨めなかった看護学科第4期生98名の皆さんの心境を推量しますと断腸の思いが致します。4期生の皆さんには学長メッセージとして祝辞と激励の言葉をメール発信しました。このような状況下でありながら、第4期生の看護師国家試験合格率は96.9%と4年連続で新卒の全国平均合格率を上回り、保健師国家試験合格率では今回も100%を達成し、第1期生からの偉業を継承しました。保護者皆様のご支援のもと、4期生自身が本学で培った人間力を遺憾なく発揮して医療専門職者への最初のハードルをクリアしたものと認識しています。

さて、2020年度は、看護学科第8期生108名、栄養学科第4期生43名、栄養学科3年次編入生2名の

計153名を新入生としてお迎えし、4月3日に入学式を挙行する予定でした。

3月末の北海道では感染拡大が抑制されていたとはいえ、新規感染者が皆無ではない状況下においては、大人数での式典実施は不可能でした。それに伴い保護者説明会並びに後援会定期総会も中止に至ったことは誠に遺憾に堪えません。他大学の多くが、新学期のスタートを4月中旬以降に延期したのに対して、本学は最大の感染防止対策を講じて、4月初めからの新学期をスタートさせました。新入生及び在学生へのオリエンテーション、対面授業開始、健康診断実施など、2週間はほぼスケジュール通りに進行了。しかし、この間に首都圏では感染拡大が進み、4月7日の7都府県への緊急事態宣言発出、4月16日の北海道を含む全国への発出拡大の事態となり、本学も4月15日より再度、登校禁止措置を取りました。COVID-19との長期戦を予想し、学生皆さんのインターネット環境の整備を行って、5月18日より遠隔授業を開始しております。対面授業は1回限りですが、時間割後に自分のペースで何回でも視聴できるメリットは遠隔授業ならではのといえます。臨地実習に関しては、受け入れ医療機関の逼迫状況や実習生の安全性を考慮して、今年度はすべて学内実習に変更致しました。6月10日に感染防止対策をまとめた安心宣言を表明し、6月15日より対面が必要な実習、演習、実験等を本学内に実施しております。

首都圏では緊急事態宣言解除後の経済活動再開に伴う第二波感染が拡大しており、北海道も終息を全く見通せない状況では、感染防止の基本的ルール（3密回避、マスク着用、手洗い励行など）を遵守し、徹底した体調の自己管理、体調不良時には無理をしないなど、Withコロナを意識した新しい教育スタイルを当面継続せざるをえません。

保護者皆様へは本学の状況についての情報を滞りなく直接及びホームページにて発信し、保護者懇談会のオンライン化などにより学業状況や就職等についての情報交換を図る所存ですので、今後共、札幌保健医療大学へのご支援を何卒宜しく申し上げます。

## CONTENTS

学長挨拶	1
新型コロナウイルス感染症への本学における対応について	2-3
学内活動報告	4-5
学外活動報告	5
栄養学科活動報告	6
学生支援・キャリア支援	7
国家試験結果・就職状況・入試結果報告	8



# 新型コロナウイルス感染症への本学における対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、看護学科4期生の卒業式、2020年度の入学式・新入生歓迎会などの行事が中止となり、例年と異なる新年度のスタートとなりました。

本学では、「一人の感染者も出さない」を目標に、保健医療専門職者を目指す学生として、正しい情報と冷静な判断、適切な行動を身に着けるため、様々な取り組みを行ってまいりました。



## 2020.4.15 全学休校措置(臨時休業)

4月3日から、在学生のガイダンス、6日から新入生ガイダンスを実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による札幌市の「緊急事態宣言」の発令に伴い、4月15日～5月31日の間、全学休校の措置をとることとなりました。また、今年度の学外実習(病院実習)はすべて中止とし、学内実習に振り替えることに決めました。

## 2020.5.18 遠隔授業の実施

5月18日より、対面が必要な実習・実験を除き、全授業科目をMicrosoft Teamsを利用した遠隔授業で実施することとしました。在学生に学修環境調査を行い、パソコンを持っていない学生には貸与しての自宅学修とし、インターネット環境が整っていない学生には、大学の情報処理室を開放しました。

## 2020.6.1 臨時休業の解除と対面授業の再開

5月25日の札幌市「緊急事態宣言」の解除を受け、6月1日から臨時休業(登校禁止)を解除し、6月15日から対面授業(実習・実験・演習)、就職面接トレーニング、事務手続き、クラブ活動等を再開しました。対面授業を除き、事務手続き等で登校する場合は事前予約のうえ、登校することとしました。また、授業時間の開始を遅らせることで、交通機関等での混雑・密を避けています。

## 2020.6.10 「札幌保健医療大学 安心宣言」

6月10日に「札幌保健医療大学 安心宣言」を発表し、大学での「7つの安心」への取り組みの周知を図っています。

## 札幌保健医療大学 安心宣言 札幌保健医療大学 7つの安心への取り組み

### 1. 学生、教職員のマスク着用や手洗い等の励行

○通学、通勤など外出時や大学内でのマスク着用、手洗い、アルコール消毒の励行

### 2. 学生、教職員の健康管理の徹底

○毎朝晩の検温徹底、発熱(37.0℃以上)や風邪症状等での登校・出勤禁止  
○玄関に非接触型熱感知カメラを設置し、入校者の体温を測定



### 3. 対面授業時に学生、教員へのフェイスシールド着用

○対面授業(実験・実習・演習等)で必要に応じてフェイスシールドを着用し、飛沫拡散防止の徹底

### 4. 各教室等の定期的な換気

○30分ごとにチャイムを鳴動させ、各教室等の換気を徹底



### 5. ソーシャルディスタンスの確保

○席間はおおよそ1.5mを確保し、スクール形式の配置  
○教室は座席固定とし、使用後のアルコール消毒の徹底

### 6. 人と人の接触機会を減らす取り組み

○学年を複数のグループに分けた対面授業の実施  
○遠隔授業の実施 ○事務室窓口にアクリル仕切板の設置、教職員の在宅勤務の取り組み

### 7. 校舎内の消毒、清掃を励行

○定期的な机・椅子、ドアノブ等のアルコール消毒の励行  
○毎日の校舎内の清掃の励行

## 遠隔授業風景

Microsoft Teamsを用いたオンラインリアルタイム授業と、オンデマンド型授業を展開。Share Pointでの時間割の告知、お知らせなどの掲示板としての利用を学生に周知しています。登校日の予約もオンラインで行っています。



## 対面授業風景

座席間の距離の確保、学生・教員のフェイスシールドの着用など、飛沫防止に努めています。また、学生を複数グループに分けて密を避けた授業を実施しています。



## 学内感染防止対策

玄関のサーモカメラの設置、事務局、図書館の飛沫感染防止対策など、学生、教職員の感染防止に努めています。





# 2019年度 学内活動報告



## 体育大会

2019年5月15日(水)に札幌市東区の札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム(愛称:つどーむ)のメインアリーナで体育大会を実施しました。看護学科、栄養学科合同で約200名の学生が参加し、学科混合の全10チームで熱戦が繰り広げられました。運動が得意な人もそうでない人も参加できるように、ドッジボール、なんでも走、綱引き、チーム対抗リレーの4種目が行われました。また、今年は教員がドッジボールとチーム対抗リレーに参加。さらに綱引きでは学生の助っ人として参加する場面もありました。

最後に学長賞などの各賞が授与され、学科間・学年間での交流が深まった1日でした。



## 大学祭

2019年10月5日(土)、第6回札幌祭を開催しました。今年のテーマは「革命」と題し、学生による恒例の模擬店や、今回初の試み「ドリームチャンス」と「ウォーキングバスケット」を実施しました。昨年と同様、北海道胆振東部地震に被災し、復興に尽力されている厚真町のみなさまを将来にわたって応援する意味を込めて、模擬店の売り上げの一部を厚真町に寄付し、近隣地域の方も多く来場いただきました。



## グローアップセレモニー・保護者懇談会

2019年11月9日(土)、看護・栄養学科2年次生を対象としたグローアップセレモニーを開催しました。

グローアップセレモニーとは、本学の4年間の学修の節目として、各学科2年次生一人ひとりがこれまでの学修を振り返り、看護職および管理栄養職への学びの意思を確認する目的として毎年開催しています。

今回は、医療法人社団慈佑会から医師の方波見康雄先生をお招きし、専門職業人として、医療ケアをするうえでの心構えをあらためてお話いただきました。また、講演終了後、学生を代表して、看護学科桑島健将さん、栄養学科亀谷智弘さんから今後に向けての決意表明がありました。

午後からは後援会主催の保護者懇談会を開催し、57組77名の保護者の方にご参加いただきました。

保護者懇談会は、大学と保護者の皆さまとの相互理解および学生支援に向けた協同体制づくりを目的として毎年開催しています。各学科での学生の学修や生活状況の報告、就職・国試ガイダンスが行われた後、教員との個別懇談が行われました。両学科とも短い時間ながら、保護者の皆さまと交流を深めることができました。

### 2019年度 札幌保健医療大学 Grow-up Ceremony





## オープンキャンパス

2019年度のオープンキャンパスは、3月～10月にかけて計8回開催され、のべ615名(保護者含む)の方にご参加いただきました。両学科ともに施設見学、先輩とのトークなどのプログラムに加え、各学科の特色を活かした体験演習を実施しました。また、栄養学科オープンキャンパスでは編入学希望者向けの説明会も同日開催しました。終了後のアンケートでは、両学科とも学生スタッフの印象がとても良く、参加者の皆さまに好評でした。

2020年度は新型コロナウイルス感染防止に努めながら、従来のオープンキャンパスプログラムとはまた違ったアプローチで本学の魅力を体験してもらえ、るプログラムを予定しています。



## 2019年度 学外活動報告



### 公開講座

本学では、地域連携事業の一環として毎年公開講座を開催しています。今年度は、6月と10月の2回開催し、多くの参加者にご来場いただきました。

6/22(土)	レバンガ北海道における栄養サポートフォーラム
講師・パネリスト	栄養学科:岡本 智子准教授 レバンガ北海道:多嶋 朝飛選手、野口 大介選手
10/26(土)	生活習慣病その予防について知ろう! ～医師、保健師、管理栄養士の視点～
講師・パネリスト	看護学科:小川 克子講師 栄養学科:千葉 仁志教授、松川 典子講師



## モエレ町内会「中沼西夏祭り2019」

2019年7月20日(土)にモエレ町内会主催の「中沼西夏祭り2019」に本学教職員と学生が参加しました。本学地域連携委員と本学サークルの看護技術向上研究会の学生による「ロコモ&健康相談」、お祭り会場ステージでは「音楽に合わせての健康体操」、さらにお祭り会場内で栄養学科の学生ボランティアによる「たべものかるた」を行い、子ども達を含め多くの町内会の方と楽しみながら交流を図りました。

参加された方からは「毎年楽しみにしています」「このような地域活動はとても重要だと思います」などの感想が寄せられ、地域連携が根付いてきていることを学生たちも実感できました。



## ひがしく健康・スポーツまつり2019

2019年10月20日(日)に札幌市スポーツ交流コミュニティドーム(愛称:つどーむ)で「ひがしく健康・スポーツまつり2019」が開催され、札幌東区5者地域連携協定事業の一つとして本学から看護学科、栄養学科の教職員・学生がボランティアとして参加しました。

この事業は東区民の健康への意識を高め、健康のための食習慣や運動習慣を身につけるきっかけ作りの場を提供する目的で、毎年つどーむで開催され、本学も毎年参加しています。



本学のイベントブースでは、学生による「ロコモ&栄養チェック」と教員による「健康相談」を行い、100名を超える参加がありました。



# 栄養学科活動報告

## 01 スポーツ栄養フォーラム

2019年10月26日(土)、栄養学科の取り組みとともに「スポーツにおける栄養管理の大切さ」について解説する「スポーツ栄養フォーラム」を開催しました。

北海道日本ハムファイターズやセレッソ大阪で専任管理栄養士(公認スポーツ栄養士)として活躍の日本ハム株式会社中央研究所研究員の柄澤紀先生をお招きし、本学のレバンガ北海道栄養サポートメンバー3名とともに、プロアスリートの栄養管理を中心に事例に基づいた最新情報が提供されました。会場からは具体的な栄養価に関する質問やプライベートの時間の食事管理についての質問もあり、とても有意義なフォーラムとなりました。



## 02 食育ボランティア

食育ボランティアサークルの学生を中心に、NPO法人ニルスの会(医療法人社団豊生会)が主催する「地域食堂」に定期的に参加しています。また、2020年度からは医療法人社団豊生会と包括連携協定を締結し、各種イベントの企画・運営や共同研究を通じて、地域の保健、医療、福祉の充実・発展に取り組んでいきます。



## 03 商品開発

例年、企業とのコラボレーション企画として商品開発に取り組んでいます。今年、札幌の伝統野菜「札幌黄(たまねぎ)」を使ったカレーパンを札幌の人気パン店「どんぐり」と共同開発し、札幌アリオ店にて期間限定で販売されました。店舗のPOPやラベルなども学生が中心となって制作しました。



## 04 大学農場

大学農場「WILL FARM」では、札幌の伝統野菜を中心に、さまざまな野菜を育てています。主に1年次生が中心となって野菜を「作る」ところから学び、1年を通して農場での作業に携わります。育てた野菜を収穫し、調理・加工・提供することで、管理栄養士の基礎となる「食」をトータルで学ぶことができる環境を整えています。

収穫した野菜は、調理学実習などの授業や商品開発の材料として使用されるほか、大学祭での模擬店でも使用しています。





# 学生支援・キャリア支援

看護学科 進学・就職活動支援

## 三職種講演

毎年11月に看護学科1年次生を対象とした三職種講演を行っています。この講演会は、看護職(看護師・保健師・助産師)として活躍する先輩の話聞き、自身の将来の方向性や就職選択の一助となるよう開催しているものです。昨年度は、各職種で活躍する本学卒業生4名をお招きし、看護師、保健師、助産師を目指したきっかけや現在の業務内容、仕事のやりがいや学生時代に学んだことなど卒業生ならではの視点でお話いただきました。



## 学内就職説明会・就職ガイダンス

全学年を対象とした学内就職説明会を11月に開催しました。昨年度は実習施設を中心に23施設にお越しいただき、病院の特徴や業務内容、教育体制などの説明が行われました。5月には、3、4年次生を対象とした保健師就職説明会も開催。また、3年次には面接マナー講座、履歴書・ESガイダンスを実施し、4年次の就職活動に備えます。



## 国家試験対策支援

2年次より、低学年模擬試験を実施し、3年次には業者による国家試験ガイダンスのほか、2回の模擬試験、1~3月はDVD講座を行います。3月には、外部業者による補講を実施します。4年次は、計6回の模擬試験と外部業者による補講を行い、国家試験対策担当教員とともに国家試験全員合格を目指します。



栄養学科 進学・就職活動支援

## 公務員ガイダンス・就職ガイダンス

外部講師をお招きした公務員・企業ガイダンスを実施します。また、低学年年次から本格的な就職活動を前に、コミュニケーションガイダンスや就職サイトの活用講座などで、就職活動への意識付けを行います。3年次には自己分析、履歴書・ESガイダンスのほか、小論文対策講座やメイク・着こなし講座などのマナー講座も実施し、就職活動本番に備えます。



## 国家試験対策支援

1、2年次には過去問題模擬試験にチャレンジし、合格ラインに達するまで再テストを実施しています。3年次には国家試験対策講座を実施し、過去の国家試験問題に取り組みます。また、10月と1月に模擬試験を実施。4年次には年5回の模擬試験のほか、12月、2月に外部業者による補講を行います。国家試験対策担当教員が通年で個別指導も行います。

# 看護学科4期生の国家試験結果と就職状況

## ◎第4期生国家試験結果



第109回看護師国家試験は、  
本学から98名が受験し95名が合格しました。

本学合格率 **96.9%**

新卒全国平均94.7%

第106回保健師国家試験は、  
本学から13名が受験し13名が合格しました。

本学合格率 **100%**

新卒全国平均96.3%

## ◎卒業生の主な就職先

### 看護師

**【札幌市内】** 北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、市立札幌病院、国立病院機構北海道がんセンター、斗南病院、手稲溪仁会病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、JA札幌厚生病院、JCHO北海道病院、JR札幌病院、NTT東日本札幌病院、札幌北楡病院、イムス札幌内科リハビリテーション病院、イムス札幌消化器中央総合病院、道立子ども総合医療・療育センター、札幌南一条病院、札幌深仁会リハビリテーション病院、札幌白石記念病院、札幌禎心会病院、札幌西円山病院、東札幌病院、北海道勤労者医療協会、柏葉脳神経外科病院、天使病院、恵佑会札幌病院、愛全病院、愛心メモリアル病院、愛育病院、旭山病院

**【北海道内】** JA旭川厚生病院、国立病院機構函館病院、函館中央病院、道東勤医協釧路協立病院、釧路ろうさい病院、日鋼記念病院、名寄市立病院、留萌市立病院、恵み野病院

**【北海道外】** 東京女子医科大学病院、東邦大学大森病院、東京湾岸リハビリテーション病院、板橋中央総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、東京歯科大学市川総合病院、湘南鎌倉病院、横浜共済病院、川崎幸病院、静岡がんセンター

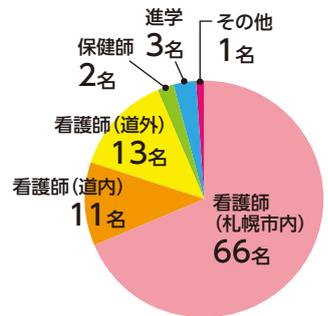
### 保健師

蘭越町、むかわ町

### 進学

天使大学大学院助産学研究科、  
札幌市立大学助産学専攻科

卒業生の職種等進路  
(2019)



## 2019年度 入試結果

### 入試区別志願者・受験者・合格者・入学者数

看護学科								栄養学科							
入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者 ※	倍率		入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者 ※	倍率	
学校推薦型	45	39	39	38	38	1.0		学校推薦型	35	14	14	14	14	1.0	
一般	前期	40	184	176	120	54	1.5	総合型	前期	10	19	19	19	19	1.0
	後期	5	32	32	6	2	5.3		後期	5	1	1	1	1	1.0
センター	前期	5	102	102	50	11	2.0	一般	前期	20	19	18	18	4	1.0
	中期	3	9	9	4	1	2.3		後期	2	1	1	1	2	1.0
	後期	2	3	3	3	2	1.2		前期	4	22	22	22	3	1.0
合計	100	369	361	221	108	1.6	センター	中期	2	1	1	1	0	-	
								後期	2	0	-	-	-	-	
								合計	80	77	76	76	43	1.0	
								栄養学科 編入学	募集人数						
									若干名	2	2	2	2	1.0	

## 学事暦(年間行事)

4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会／栄養学科オープンキャンパス 看護学科3、4年次臨地実習開始／栄養学科4年次教育実習
6月	栄養学科3年次臨地実習／オープンキャンパス
7月	看護学科1年次看護基礎実習I／栄養学科オープンキャンパス 栄養学科4年次臨地実習
8月	前期定期試験／オープンキャンパス
9月	前期学位記授与式／栄養学科オープンキャンパス
10月	大学祭／オープンキャンパス
11月	グローアップセレモニー／保護者懇談会 看護学科2年次看護基礎実習II
12月	冬期休暇
1月	
2月	後期定期試験
3月	学位記授与式／オープンキャンパス

\*新型コロナウイルス拡大により、予定が変更となることがあります。

### 編集後記

2019年度から2020年度にかけて、誰も予想できないコロナ禍が世界を襲いました。本学も他大学同様、卒業式や入学式などの年度を代表する主要行事が実施困難となりました。学生の皆さんはもとより、我々教職員にとっても誠に残念なことでした。ただ、このような社会不安が広がる中でも、看護学科4期卒業生(98名)は、看護師国家試験合格率(96.9%)、保健師国家試験合格率(100%)と努力の成果を示し、それぞれの夢に向かって歩み始めたことは何よりの喜びです。

いよいよ2020年度は、看護学科、栄養学科とも初めて4学年が揃うこととなります。今回の「Will」では、2019年度がほぼ例年通りの事業や学生の活動状況をご紹介できているのに対し、例年とは異なる学内環境下でスタートした2020年度では、学生と教職員が一体となったコロナ禍への取り組みもご紹介しております。コロナ禍が終息し、平常の活動をお伝えしたいところですが、このようなリスク時だからこそ、有為な医療人養成を目指す本学の姿勢がご理解いただければ幸いです。